

## 〈研究成果の紹介〉

## シクラメンの日持ちに影響する要因

農業研究部 経営・植物工学研究課

## 1. 成果の内容

シクラメンを長く楽しむための置き場所や管理方法についての情報は、マニュアルやラベルに示されています。しかし、個々の条件のうちどの条件が日持ちに大きく影響するのかわかりません。また、流通・小売関係者らは、生産者によって日持ちが異なると考えています。そこで、家庭での管理以外にシクラメンの栽培方法の違い（生産者の違い）も含めた、総合的な観賞期間に影響する要因を調べました。

今回の試験では、同じ品種のシクラメンを複数の生産者からサンプリングし、消費者モニターによる様々な家庭環境のもとで日持ちの比較を行い、統計的な手法により観賞期間に影響する要因を明らかにしました。

日持ち試験の経過は、平均観賞日数が128日でした。また最短は49日、最長は180日でした（図1）。観賞期間に影響する要因は、「生産者」、「日当たり」、「夜温度（午後9時）」が強く影響しました（表1）。このうち「生産者」の要因が最も影響力が大きかったことから、生産者の違いが購入後の置き場所や手入れよりも、観賞日数の長短に与える影響が大きかったと言えます。

また家庭の要因では、日当りは強い光が当たるほど、温度は夜間が3～5℃の低温で昼間が11～15℃、さらに水ぎれを起こさないなど

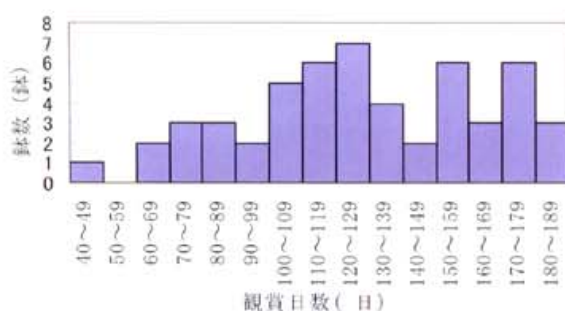


図1 シクラメンの観賞日数

の適正な管理を行うことで観賞日数が長くなる結果となりました。これは一般的に長く花を楽しむための管理方法として消費者に提供されている情報と一致しています。

## 2. 技術の適用効果と適用範囲

観賞日数を長くするためのマニュアルの作成等に利用できます。

## 3. 普及、利用上の留意点

日持ちの比較試験は、一般的な管理基準に近い条件下であることを前提とした結果です。

(現企画調整課 水谷 憲)

表1 シクラメン日持ちに影響を及ぼす要因

アイテム	カテゴリー名	スコア	レンジ
生産者	A	0.27	107.54
	B	-25.60	
	C	1.87	
	D	39.62	
	E	40.42	
	F	-56.85	
	G	-11.05	
	H	20.85	
	I	25.50	
	J	28.60	
	K	3.58	
	L	25.11	
	M	26.30	
	N	-39.18	
O	-25.32		
P	5.03		
Q	-67.12		
R	-32.54		
S	29.36		
T	5.09		
日当たり	直射日光が当たる	41.93	63.43
	カーテン越しに当たる	12.76	
	日光が当たらないが明るい	-21.50	
夜温度 (夜9時)	3～5℃	18.18	55.62
	6～10℃	-9.38	
	11～15℃	-37.44	
	16℃以上	0.32	
昼温度 (正午)	10℃以下	-6.38	44.08
	11～15℃	12.09	
	16℃以上	-31.99	
水ぎれ	なし	7.83	28.53
	2回以上	-20.70	
葉組み	なし	3.41	12.30
	2回以上	-5.11	
購入1ヶ月以降肥料	月1回以上	7.20	11.88
	月1回以下	-5.11	
鉢	与えた	6.73	10.65
	なし	-5.16	
	底面給水鉢	-3.02	10.65
	普通鉢	7.64	

注1) レンジの大きいアイテムほど日持ちに対して影響が大きく、スコアの値は正の値が大きいほど日持ちが長くなる。

注2) 生産者のA～Tは生産者名を示す。